

# EUROPEAN PATENT OFFICE

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 52116360  
PUBLICATION DATE : 29-09-77

APPLICATION DATE : 25-03-76  
APPLICATION NUMBER : 51033286

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD;

INVENTOR : IMAI HIROZO;

INT.CL. : B26B 19/14

TITLE : ROTARY ELECTRIC RAZOR

ABSTRACT : PURPOSE: To make it possible to cut a beard introduced into a central portion of an outer edge of an electric razor, by revolving while rotating a inner edge body in which an inner edge is arranged over a range of larger radius than a radius of an outer edge by means of a planet gear mechanism.

COPYRIGHT: (C)1977,JPO&Japio

①日本国特許庁  
公開特許公報

①特許出願公開  
昭52—116360

①Int. Cl.<sup>2</sup>  
B 26 B 19/14

識別記号

②日本分類  
125 G 321

庁内整理番号  
6755—46

③公開 昭和52年(1977)9月29日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

④回転式電気カミソリ

②特 願 昭51—33286

②出 願 昭51(1976)3月25日

②発 明 者 喜多正和

門真市大字門真1048番地松下電  
工株式会社内

②発 明 者 今井博三

門真市大字門真1048番地松下電  
工株式会社内

②出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

②代 理 人 弁理士 竹元敏丸 外 2 名

明 細 書

1. 発明の名称 回転式電気カミソリ

2. 特許請求の範囲

上面に外刃の半径以上の曲面上に内刃を配  
置した内刃基台の下面中心に、歯紋を具ならしめ  
た一方の歯車を固着した回転軸を固定して内刃体  
を形成し、外刃とモーター間にモーターの出力軸  
に設けた歯車とボディの内周側に設けた歯車に回  
転軸の歯車を連関啮合させ遊星歯車機構を形成せ  
しめて内刃体を配設し、内刃体の内刃が外刃内面  
に接触して自転すると共に公転するようにしたこ  
とを特徴とする回転式電気カミソリ。

3. 発明の詳細な説明

この発明は外刃の中心部分のヒゲ挿入孔から挿  
入されたヒゲを切断できるようにした回転式電気  
カミソリに関する。

回転式電気カミソリは一般に下面中心に回転軸の  
係合部を有する半球形の内刃基台の上面に複数個の  
内刃を放射状に配設した内刃体を、外刃の内面に  
内刃を接触させて回転自在に配設した構成である

ため、外刃の中心部に内刃と接触しない部分がで  
き、この外刃の中心部に挿入されたヒゲが切断さ  
れない欠点があった。

かゝる点に鑑み本発明は図面に示すように、上  
面に外刃Aの半径以上の曲面上に内刃1を配  
設した内刃基台Bの下面中心に歯紋を具ならしめ  
た一方の歯車2、3を固着した回転軸4を固定し  
て内刃体5を形成し、外刃AとモーターM間にモ  
ーターの出力軸6に設けた歯車7とボディDの上  
部内周側に設けた歯車7に、回転軸4の歯車2及  
び3を連関啮合させ遊星歯車機構7を形成せしめ  
て内刃体5を配設し、内刃体の内刃1が外刃Aの  
内面に接触して自転すると共に公転するようにし  
、従来例の欠点を解消するようにしたものである  
。尚、図面に於いてAは外刃Aの外周縁を固定す  
る外刃枠、8は一端をモーターの出力軸6に回転  
自在に接続した回転軸4の支承板である。

本発明は上記したように、外刃Aの半径以上の  
曲面上に内刃1を配設した内刃体5を遊星歯  
車機構7によって自転させ乍ら公転するようにし

たから、内刃が外刃の中心部内面にも接触して回転し、外刃の中心部に導入されたヒゲも切断される。

かように本発明によれば、外刃の中心部に導入されたヒゲを切断することができ、ヒゲ削りスピードを向上できる効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示すもので、第1図は断面図、第2図は装部の平面図である。

主要な部分の符号説明

Aは外刃、Bは内刃体、1は内刃、4は回転軸、Mはモーター、5は出力軸、Dはボディ、Gは遊星歯車機構。

図 1 図

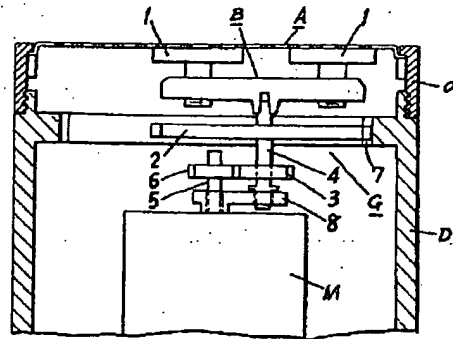
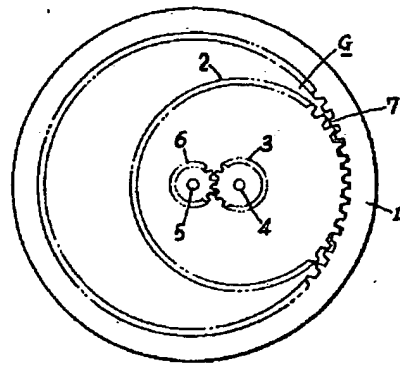


図 2 図



特許出願人

松下電工株式会社

代理人弁護士 竹元 敏 丸

(ほか8名)

BEST AVAILABLE COPY